

対話形式によるデータ / AIの業務活用を支援

富士通は、生成AIや行動認識AI、需要予測などの様々な業務特化型AIで、日常生活における利便性向上や人の能力・経験知の向上につながる新たなサービス・事業の創出をサポートします。

富士通独自のハルシネーション対策を施した生成AIを、企業向けの安全な環境でチャットアプリとAPIの2形態でご利用いただけます。幅広いユースケースでLLM(大規模言語モデル)やRAG(検索拡張生成)の活用を実現します。大規模かつセキュアなデータを所有するエンタープライズ領域においては、Cohere Inc.と共同開発した業務特化型LLMを通じて、お客様の業務変革をご支援します。

提供機能

生成AIの利用に必要な機能をワンパッケージでご提供します。すぐに使い始めることができ、PoCや短期間の利用にも最適です。プロンプトやデータの変換・読み取りといった段階的な処理の組み合わせやAPI利用も可能で、幅広いユースケースに柔軟に対応しています。

-  **1 対話型インターフェース**
 - ・ ChatGPT同様の対話型インターフェース
 - ・ チャット履歴の表示、複数チャットの連携を行うアプリを提供
-  **2 RAG機能/お客様固有データを安全に活用**
 - ・ セキュアな環境でお客様固有データ等の外部知識を元に回答生成が可能
 - ・ 取込データが目的に沿って参照されたか否かの評価を支援
-  **3 業務に合わせて選択・設定可能なAPIテンプレート**
 - ・ 汎用的な処理の流れ（翻訳・要約・設計書レビュー等）をあらかじめAPIテンプレートとして用意
 - ・ APIを組み合わせ多段階的な処理の流れをユースケースごとに設定可能
-  **4 ハルシネーション検出機能**
 - ・ 【富士通独自技術】出力された回答に含まれる、データに基づかない“もっともらしい誤り”を検出

サービスの特長

-  **最新技術を反映**

マルチモーダル対応、分析AIの組み込みや特化型LLMの追加などを行っており、最新技術を利用可能です。
-  **チャットアプリとAPIの2形態から選択可能**

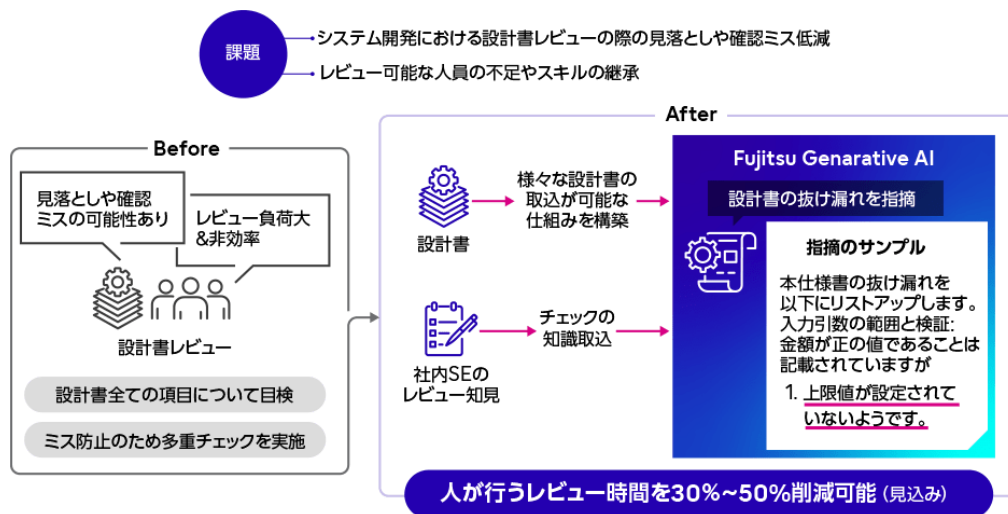
生成AIと対話形式でやり取りが可能なチャットアプリと、業務に組み込みやすいAPIの2形態でご提供します。
-  **FlowとAPIによる柔軟性と利便性**

Flow（AIが作業を順番に進めるための処理の流れ）の設定やAPIの利用により、お客様自身のニーズに合わせて生成AIをカスタマイズ可能です。

ユースケースに合わせたテンプレート

設計書レビュー支援機能

システム開発の設計書レビュー工程において、チェック観点を設定することで、AIが抜け漏れを指摘できる仕組みを実現。富士通エンジニアのレビュー知見を学習しており、これまで経験者がすべて目検で行っていた膨大なレビュー作業の工数を、30~50%程度削減できる見込みです。



エンタープライズ向け業務特化型LLM

富士通とCohere Inc. が共同開発した業務特化型LLM「Takane」を提供します。Takaneは、日本語処理能力を強化したLLMで、秘匿性が高く、大規模なデータを所有するお客様向けにRAG/ファインチューニングでお客様専用の業務特化型LLM作成・活用をご支援します。



(注1) Large Language Model : 大規模言語モデル

(注2) Retrieval-Augmented Generation : 検索拡張生成

(注3) テキストやその他のデータを数値ベクトルに変換する機械学習モデル

(注4) 検索システムの精度を向上させるためのモデル

(注5) Cohere Inc.が開発した大規模言語モデル

お問い合わせ先

富士通株式会社

富士通コンタクトライン（総合窓口）0120-933-200

受付時間：9:00~12:00および13:00~17:30（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）

[お問い合わせフォーム](#)



Fujitsu Data Intelligence PaaS

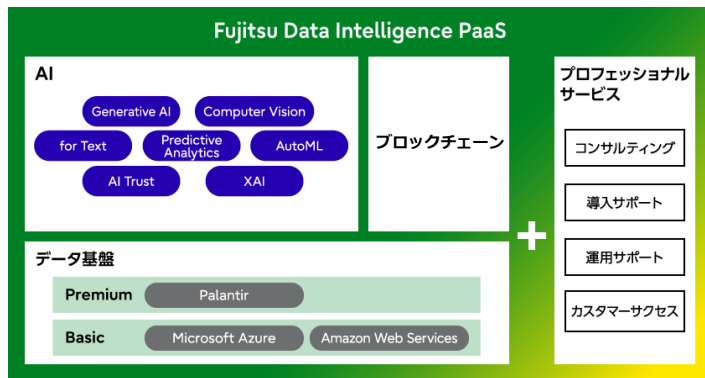
意思決定を支援するオールインワンオペレーションプラットフォーム

業務特化型AIを提供する富士通のアプローチ

生成AIの登場により、人間が自然言語でAIと効率的にやり取りできるようになり、AIの恩恵を受けて生産性を上げることが可能になりました。また、生成AIは膨大なデータから新たなアイデアを生み出し、人間の創造性を拡張します。

組織の中で求められるAIは、特定の業務のエキスパートであり、言語情報の解釈に加えて画像、動画、グラフ、音楽、専門分野の知見などのマルチモーダルな情報を駆使して人間に提案し、人間の意思決定を支援します。組織内で人間の生産性と創造性を向上させるには、一般的な日常で活用する汎用的なAIに加えて、日常業務で活用できる業務特化型のAIを組み合わせる必要があります。

富士通は、業務特化型のAIを実現するために、「Fujitsu Data Intelligence PaaS（以下、DI PaaS）」を提供します。DI PaaSは、組織内外に散在する膨大なデータを意味の理解できる形に統合して意思決定を支援する、クラウドベースのオールインワンオペレーションプラットフォームです。これにより、業種間で分断されたデータを統合的に連携・分析し、企業間のクロスインダストリーを活性化させ、これまでにない解決策や知見を導出することでお客様のSXと社会課題解決を支援します。



データ基盤

PalantirおよびMicrosoft Azure／Amazon Web Servicesを基盤とするオペレーションプラットフォーム。
Palantirは、データの統合から蓄積、可視化までにとどまらず、その先の業務で使用するアプリケーションまでオールインワンで作成できるソリューションです。
また、お客様の各種業務課題に対し富士通が蓄積した業種での事例に基づいた機能やデータ群を提供します。

ブロックチェーン

ブロックチェーン技術を活用したトレーサビリティ基盤を提供します。富士通はこれまでに培ったブロックチェーン技術やノウハウを活用して多様なステークホルダーが保有するデータをつなぐことで、ステークホルダー間の取引を透明化、安心と信頼をもたらし、お客様と共にトレーサビリティに関わるビジネス課題を解決していきます。

AI

富士通グループ12.4万人の知見と実績を結集したAIサービスです。生成AI、画像認識、自動機械学習など、多岐にわたるAI機能をワンストップで提供し、お客様のビジネス課題解決を支援します。
生成AIにおいては、業務特化向けの日本語強化LLM「Takane」を含む多彩なラインナップを用意。クラウド環境、プライベート環境など、お客様のニーズに最適な環境とLLMを組み合わせ、全方位的な生成AIサービスを提供します。

プロフェッショナルサービス

テクノロジーコンサルティングや運用サポートなど、お客様のデータとAIの価値最大化に向けたサービスを提供します。
スピーディな仮説検証を通じてお客様ビジネスにおける課題解決を支援します。